

Ⅲ. 調査票

1. 国実施型(学校用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか？（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他（具体的にお書きください。）

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。（いずれかに○をつけてください。）

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他（具体的にお書きください。）

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

3. 評価項目の希望はどのような観点で選びましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の重点目標に即して選んだ。
- B. 学校運営全体の点検を目的として選んだ。
- C. 設置者が設定した共通評価項目を基に選んだ。
- D. 取り組みが一定の成果を上げつつある項目を選んだ。
- E. 取り組みに課題があるとする項目を選んだ。
- F. 助言が必要だと考える項目を選んだ。
- G. 自己評価、学校関係者評価の評価項目と重なる項目を選んだ。
- H. 自己評価、学校関係者評価の評価項目と異なる項目を選んだ。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

4. 自己評価、学校関係者評価の項目と、第三者評価項目との関係についてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 重ねたほうがよい	2. どちらでもない	3. 別々に設定したほうがよい
-------------	------------	-----------------

その理由をお答えください。

5. 事前記入シートの評価項目例以外にも項目例に入れるべきと考える項目はありますか。（ある場合は、具体的にお書きください。）

--

***高等学校、中等教育学校、特別支援学校の方は、以下の項目にもお答えください。**

6. 小中学校と同様の評価項目で評価を行うことは適切だと思いますか。（いずれかに○をつけてください。）

適切	どちらかというと 適切	どちらとも いえない	どちらかというと 不適切	不適切
----	----------------	---------------	-----------------	-----

*6で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。

6-1. どのような点が不適切でしたか。貴校の特性と関係づけてお答えください。

--

問3. 調査の日程についておたずねします。

1. 調査日程の長さは適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

短すぎる	やや短い	どちらとも いけない	やや長い	長すぎる
------	------	---------------	------	------

2. 調査時期は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという と適切	どちらとも いけない	どちらかという と不適切	不適切
----	----------------	---------------	-----------------	-----

3. 調査時期として最も適切だと考える時期はいつですか。

	月	上旬	ごろ
		中旬	
		下旬	

その理由をお答えください。

問4. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
6. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

7. A～Dなどの評定をつけず、講評の記述のみであることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定をつけたほうがよい	どちらかというの評定をつけたほうがよい	どちらともいえない	どちらかというの評定はつけないほうがよい	評定はつけないほうがよい

その理由をお答えください。

8. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

--

問5. 第三者評価の結果の公表についておたずねします。

1. 評価結果を公表する予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 公表する予定である	2. 公表する予定はない	3. 公表するかどうかは 未定
--------------	--------------	--------------------

2. 評価結果を公表することによりどのような利点が得られると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営についての理解が得られる。
- B. 学校の課題を共有できる。
- C. 学校のよいところを知ってもらえる。
- D. 学校の教育活動に協力してもらえる。
- E. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 評価結果を公表することにはどのようなリスクがあると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校に対する批判がおこる。
- B. 学校運営が混乱する。
- C. 教職員のやる気が低下する。
- D. 学校のよいところを見てもらえなくなる。
- E. 保護者が不安になる。
- F. 児童生徒が不安になる。
- G. その他(具体的にお書きください。)

()

*1で「公表する予定である」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価結果の公表はどのような形で行う予定ですか。(公表の対象者や内容、媒体など具体的にお書きください。)

問6. 第三者評価の結果の活用についておたずねします。

1. 評価結果をどのように活用する予定ですか。活用内容とのおおよその実施時期を、それぞれの選択肢から選んで時系列でお答えください。（すべての選択肢を選ぶ必要はありません。予定しているものだけで結構です。）

実施時期		活用内容	
①	11月上旬	㊦	報告書の分析
②	11月中旬	㊦	運営委員会に報告書の内容、分析結果を報告
③	11月下旬	㊧	運営委員会で改善策を検討
④	12月上旬	㊦	職員会議で報告書の内容、分析結果を報告
⑤	12月中旬	㊧	学校協議会（学校評議員）に報告書の内容、分析結果を報告
⑥	12月下旬	㊦	各分掌で改善策を検討
⑦	1月上旬	㊦	職員会議で改善策を報告・検討
⑧	1月中旬	㊧	学校協議会（学校評議員）に改善策を報告
⑨	1月下旬	㊦	改善策のうちすぐに実施できるものを実行
⑩	2月上旬	㊧	保護者・地域住民に報告書の内容、分析結果を報告
⑪	2月中旬	㊦	保護者・地域住民に改善策を報告
⑫	2月下旬	㊦	教育委員会に改善策を相談
⑬	3月上旬	㊦	教育委員会に改善策を報告
⑭	3月中旬	㊦	教育委員会に支援（財政的・人的・物的）を依頼
⑮	3月下旬	㊦	次年度の学校運営方針への改善策の反映
⑯	その他	㊦	その他（具体的にお書きください。）

実施時期	活用内容

問7. 調査にかかる負担についておたずねします。

1. 調査準備にかかる作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

2. 調査準備にかかる作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

3. 評価チーム訪問中の作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

4. 評価チーム訪問中の作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

5. 調査全体を通じてもっとも負担に感じたことは何ですか。

--

6. 調査にかかる負担全体と得られた成果の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、得られた成果のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいともいえず、	大きく、
得られた成果は	小さい。	大きいとも小さいともいえない。	大きい。

2. 国実施型(設置者用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか？（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他（具体的にお書きください）

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。（いずれかに○をつけてください。）

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他（具体的にお書きください。）

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

3. 自己評価、学校関係者評価の項目と、第三者評価項目との関係についてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 重ねたほうがよい	2. どちらでもない	3. 別々に設定したほうがよい
-------------	------------	-----------------

その理由をお答えください。

--

4. 事前記入シートの評価項目例以外にも項目例に入れるべきと考える項目はありますか。(ある場合は、具体的にお書きください。)

--

*高等学校、中等教育学校、特別支援学校の設置者の場合は、以下の項目にもお答えください。

5. 小中学校と同様の評価項目・指標で評価を行うことは適切だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*3で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。

3-1. どのような点が不適切でしたか。当該校の特性と関係づけてお答えください。

問3. 調査の日程についておたずねします。

1. 調査日程の長さは適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

短すぎる	やや短い	どちらとも いけない	やや長い	長すぎる
------	------	---------------	------	------

2. 調査時期は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという と適切	どちらとも いけない	どちらかという と不適切	不適切
----	----------------	---------------	-----------------	-----

3. 調査時期として最も適切だと考える時期はいつですか。

	月	上旬	ごろ
		中旬	
		下旬	

その理由をお答えください。

問4. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
6. 報告書は、今後の教育行政における具体的な方策を示唆してくれた。	5	4	3	2	1
7. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

8. A～Dなどの評定をつけず、講評の記述のみであることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定をつけたほうがよい	どちらかというと評定をつけたほうがよい	どちらともいえない	どちらかというと評定はつけないほうがよい	評定はつけないほうがよい
-------------	---------------------	-----------	----------------------	--------------

その理由をお答えください。

9. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

--

問5. 第三者評価の結果の公表についておたずねします。

1. 評価結果を公表する予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 公表する予定である	2. 公表する予定はない	3. 公表するかどうかは 未定
--------------	--------------	--------------------

2. 評価結果を公表することによりどのような利点が得られると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営についての理解が得られる。
- B. 学校の課題を共有できる。
- C. 学校のよいところを知ってもらえる。
- D. 学校の教育活動に協力してもらえる。
- E. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 評価結果を公表することにはどのようなリスクがあると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校に対する批判がおこる。
- B. 学校運営が混乱する。
- C. 教職員のやる気が低下する。
- D. 学校のよいところを見てもらえなくなる。
- E. 保護者が不安になる。
- F. 児童生徒が不安になる。
- G. その他(具体的にお書きください。)

()

*1で「公表する予定である」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価結果の公表はどのような形で行う予定ですか。(公表の対象者や内容、媒体など具体的にお書きください。)

問6. 学校の第三者評価試行事業の結果を受け、何か具体的な対応を検討する予定がありますか。
当てはまるほうに○をつけてください。

1 はい	2 いいえ	3 未定
------	-------	------

※「はい」と回答した場合は、今後具体的に取る予定の対応について、具体的にお書きください。

--

問7. 調査にかかる負担と得られた成果の関係についておたずねします。

1. 下の文の中で、学校にとっての負担、全体の成果のそれぞれについて当てはまるものに○をつけてください。

学校にとっての負担は	小さく、	大きいとも小さいとも いえず、	大きく、
------------	------	--------------------	------

全体の成果は	小さい。	大きいとも小さいとも いえない。	大きい。
--------	------	---------------------	------

3. 国実施型(都道府県用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか？(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他(具体的にお書きください)

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
6. 報告書は、今後の教育行政における具体的な方策を示唆してくれた。	5	4	3	2	1
7. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

8. A～Dなどの評定をつけず、講評の記述のみであることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定をつけたほうがよい	どちらかというと評定をつけたほうがよい	どちらともいえない	どちらかというと評定はつけないほうがよい	評定はつけないほうがよい
-------------	---------------------	-----------	----------------------	--------------

その理由をお答えください。

9. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

--

問3. 学校の第三者評価試行事業の結果を受け、都道府県として何か具体的な対応を検討する予定がありますか。(当てはまるものに○をつけてください。)

1. はい	2. いいえ	3. 未定
-------	--------	-------

※「はい」と回答した場合は、今後具体的に取る予定の対応について、具体的にお書きください。

--

4. 国実施型(評価者用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか？（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他（具体的にお書きください。）

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。（いずれかに○をつけてください。）

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他（具体的にお書きください。）

()

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

3. 評価項目を学校の希望に基づいて設定したことは適切だったと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

その理由をお答えください。

--

4. 文部科学省が示した評価項目以外に評価を実施したほうがよかったと考えるものがありますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. あった	2. なかった
--------	---------

*4で「あった」と回答された方におたずねします。

4-1. 文部科学省が示した評価項目以外で評価を実施したほうがよかったと考える評価項目は何ですか。

--

*高等学校、中等教育学校、特別支援学校の評価委員の方は、以下の項目にもお答えください。

5. 小中学校と同様の評価項目で評価を行うことは適切だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いけない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*5で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。

5-1. どのような点が不適切でしたか。訪問校の特性と関係づけてお答えください。

問3. 事前記入シートについておたずねします。

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 事前に調査校の課題が把握できた。	5	4	3	2	1
2. シートにより、調査当日の作業がスムーズに進んだ。	5	4	3	2	1
3. 評価の焦点を絞るのに役立った。	5	4	3	2	1
4. 量が多すぎる。	5	4	3	2	1
5. 状況についての詳細な記述があるほうがよい。	5	4	3	2	1
6. 訪問調査に役立った。	5	4	3	2	1

問4. 事前評価シートを含め、事前に配布された資料から訪問校についての情報は十分に得られましたか。(いずれかに○をつけてください。)

十分	どちらかという 十分	どちらとも いえない	どちらかという 不十分	不十分
----	---------------	---------------	----------------	-----

* 「どちらかという不十分」「不十分」と回答された方におたずねします。

どのような情報が不足していましたか。

問5. 調査日程についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 学校の実態を把握するには短い。	5	4	3	2	1
2. 学校規模に対して不適切である。	5	4	3	2	1
3. 評価内容に対して不適切である。	5	4	3	2	1
4. 評価委員の打ち合わせの時間が不足している。	5	4	3	2	1
5. 本務への差し障りがある。	5	4	3	2	1
6. 身体的・精神的な負担が大きい。	5	4	3	2	1
7. 全体として調査日程の長さは適切だった。	5	4	3	2	1

問 6. 調査方法についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 授業観察やヒアリング等の調査方法は適切だった。	5	4	3	2	1
2. ヒアリングの時間が足りなかった。	5	4	3	2	1
3. 別の対象からもヒアリングしたかった。	5	4	3	2	1
4. 授業観察の時間が足りなかった。	5	4	3	2	1
5. 普段どおりの授業を観察できた。	5	4	3	2	1

6. 訪問調査を行うにあたり、評価委員の間で役割分担をしましたか。(いずれかに○をつけてください。)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

* 6で「はい」と回答された方におたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
7. 役割分担により、効率的に調査を実施できた。	5	4	3	2	1
8. 役割分担により、学校の一部分しか把握できなかった。	5	4	3	2	1
9. 役割分担はしないほうがよい。	5	4	3	2	1

問 7. 調査を通じて、学校や児童生徒の状況を客観的に把握できたと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 学校や児童生徒の状況を客観的に把握できた。	5	4	3	2	1

*以下 2~4 は 1 で「あてはまる」以外を選択された方のみお答えください。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
2. 時間的制約のため、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1
3. 判断材料が不十分なため、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1
4. 授業観察やヒアリングで取り繕った様子を感じられ、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1

問8. 評価シートへのコメントの記入についておたずねします。(いずれかに○をつけてください)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 特に困難はなかった。	5	4	3	2	1
2. 文章表現に気を遣った。	5	4	3	2	1
3. 学校の良い点や努力についても記述した。	5	4	3	2	1
4. 学校が有する課題について指摘した。	5	4	3	2	1
5. 課題を的確に指摘するのは難しかった。	5	4	3	2	1
6. 評価の根拠となる客観的事実を明確に述べた。	5	4	3	2	1
7. 課題の背景等について専門的視点からの分析を述べた。	5	4	3	2	1
8. 改善のための提案や専門的助言を示した。	5	4	3	2	1
9. 改善策の提示が難しかった。	5	4	3	2	1

*9で「あてはまる」「わりとあてはまる」と回答された方におたずねします。

9-1. どのような点が難しかったかお答えください。

9-2. どのような方策を講じればその困難がなくなると考えますか。

--

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
10. 改善策を提示するのは責任が重過ぎると感じた。	5	4	3	2	1
11. 記入しやすい書式であった。	5	4	3	2	1
12. 評価シートの記入にはパソコンやワープロを使用した。	5	4	3	2	1

問9. 調査報告書についておたずねします。

1. A～Dなどの評定をつけず、講評の記述のみであることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

講評のみで十分である	どちらかという 講評のみで十分である	どちらとも いえない	どちらかという 講評のみでは不十分である	講評のみでは不十分である
------------	-----------------------	---------------	-------------------------	--------------

その理由をお答えください。

2. A～Dなどの評定をつけることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定をつけたほうがよい	どちらかという 評定をつけたほうがよい	どちらとも いえない	どちらかという 評定はつけないほうがよい	評定はつけないほうがよい
-------------	------------------------	---------------	-------------------------	--------------

その理由をお答えください。

3. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

問10. 調査にかかる負担についておたずねします。

1. 訪問調査前の作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

2. 訪問調査前の作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

3. 訪問中の作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

4. 訪問中の作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

5. 調査全体を通じてもっとも負担に感じたことは何ですか。

--

6. 調査にかかる負担全体と得られた成果の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、得られた成果のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいともいえず、	大きく、
得られた成果は	小さい。	大きいとも小さいともいえない。	大きい。

問11. 評価委員の研修等についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 評価委員に対する研修の内容は適切であった。	5	4	3	2	1
2. 評価委員に対する研修の回数は適切であった。	5	4	3	2	1
3. 評価委員に対する研修が不十分だと感じた。	5	4	3	2	1

*3で「あてはまる」「わりとあてはまる」と回答された方におたずねします。

3-1. どのような点が不十分だったかお答えください。

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
4. 評価委員に対する研修は必要ないと感じた。	5	4	3	2	1
5. 評価委員に対する研修は役立った。	5	4	3	2	1

*平成18年度、19年度、20年度のいずれかにも評価委員であった方におたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
6. 経験が増えるにしたがって、評価が適切に行えると感じるようになった。	5	4	3	2	1
7. 経験が増えるにしたがって、手際よく評価できるようになった。	5	4	3	2	1

8. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点などがあれば、自由にお書きください。

--

5. 地方実施型(学校用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他(具体的にお書きください。)

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目は、誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「設置者」または「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

1-2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*1で「学校」と回答された方におたずねします。

1-3. 評価項目の設定に学校がかかわることをどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

2. 自己評価、学校関係者評価の項目と、第三者評価項目との関係についてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 重ねたほうがよい	2. どちらでもない	3. 別々に設定したほうがよい
-------------	------------	-----------------

その理由をお答えください。

--

*高等学校、中等教育学校、特別支援学校の方は、以下の項目にもお答えください。

3. 小・中学校と同様の評価項目で評価を行うことは適切だと思いますか。（いずれかに○をつけてください。）

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*3で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。

3-1. どのような点が不適切だと思いますか。貴校の特性と関係づけてお答えください。

--

問3. 調査の時期・日程についておたずねします。

1. 調査時期・日程は誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「設置者」または「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 調査日程の長さは適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

短すぎる	やや短い	どちらとも いけない	やや長い	長すぎる
------	------	---------------	------	------

1-2. 調査時期は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという と適切	どちらとも いけない	どちらかという と不適切	不適切
----	----------------	---------------	-----------------	-----

2. 調査時期として最も適切だと考える時期はいつですか。

--

月

上旬
中旬
下旬

ごろ

その理由をお答えください。

--

問4. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
6. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

7. 評価結果には A～D などの評定がつけられていましたか。(いずれかに○をつけてください。)

つけられていた	つけられていなかった
---------	------------

8. A～D などの評定をつけることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定を つけたほうがよい	どちらかという と評定を つけたほうがよい	どちらとも いえない	どちらかという と評定はつけ ないほうが よい	評定はつけ ないほうが よい
-----------------	-----------------------------	---------------	----------------------------------	----------------------

その理由をお答えください。

9. A～Dなどの評定をつけず、講評のみを報告書に記述することについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

講評のみで十分である	どちらかという 講評のみで十分である	どちらとも いえない	どちらかという 講評のみでは 不十分である	講評のみでは 不十分である
------------	-----------------------	---------------	-----------------------------	------------------

その理由をお答えください。

--

10. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

--

問5. 第三者評価の結果の公表についておたずねします。

1. 学校として、評価結果を公表する予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 公表する予定である	2. 公表する予定はない	3. 公表するかどうかは 未定
--------------	--------------	--------------------

* 1で「公表する予定である」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価結果の公表はどのような形で行う予定ですか。(公表の対象者や内容、媒体など具体的にお書きください。)

--

2. 評価結果を公表することによりどのような利点が得られると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営についての理解が得られる。
- B. 学校の課題を共有できる。
- C. 学校のよいところを知ってもらえる。
- D. 学校の教育活動に協力してもらえる。
- E. その他(具体的にお書きください。)

--

3. 評価結果を公表することにはどのようなリスクがあると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校に対する批判がおこる。
- B. 学校運営が混乱する。
- C. 教職員のやる気が低下する。
- D. 学校のよいところを見てもらえなくなる。
- E. 保護者が不安になる。
- F. 児童生徒が不安になる。
- G. その他(具体的にお書きください。)

--

問6. 第三者評価の結果の活用についておたずねします。

1. 評価結果をどのように活用する予定ですか。活用内容とそのおおよその実施時期を、それぞれの選択肢から選んで時系列でお答えください。（すべての選択肢を選ぶ必要はありません。予定しているものだけで結構です。）

実施時期		活用内容	
①	11月上旬	㉖	報告書の分析
②	11月中旬	㉗	運営委員会に報告書の内容、分析結果を報告
③	11月下旬	㉘	運営委員会で改善策を検討
④	12月上旬	㉙	職員会議で報告書の内容、分析結果を報告
⑤	12月中旬	㉚	学校協議会（学校評議員）に報告書の内容、分析結果を報告
⑥	12月下旬	㉛	各分掌で改善策を検討
⑦	1月上旬	㉜	職員会議で改善策を報告・検討
⑧	1月中旬	㉝	学校協議会（学校評議員）に改善策を報告
⑨	1月下旬	㉞	改善策のうちすぐに実施できるものを実行
⑩	2月上旬	㉟	保護者・地域住民に報告書の内容、分析結果を報告
⑪	2月中旬	㊱	保護者・地域住民に改善策を報告
⑫	2月下旬	㊲	教育委員会に改善策を相談
⑬	3月上旬	㊳	教育委員会に改善策を報告
⑭	3月中旬	㊴	教育委員会に支援（財政的・人的・物的）を依頼
⑮	3月下旬	㊵	次年度の学校運営方針への改善策の反映
⑯	その他	㊶	その他（具体的にお書きください。）

実施時期	活用内容

問7. 調査にかかる負担についておたずねします。

1. 調査準備にかかる作業量はどの程度でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

2. 調査準備にかかる作業の負担をどのように感じましたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

3. 評価チーム訪問中の作業量はどの程度でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

4. 評価チーム訪問中の作業の負担をどのように感じましたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

5. 調査全体を通じてもっとも負担に感じたことは何ですか。

--

6. 調査にかかる負担全体と得られた成果の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、得られた成果のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいともいえず、	大きく、
得られた成果は	小さい。	大きいとも小さいともいえない。	大きい。

6. 地方実施型(設置者用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他(具体的にお書きください。)

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目は、誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く

*1 で「学校」または「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

1-2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いけない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*1 で「学校」と回答された方におたずねします。

1-3. 評価項目の設定に学校がかかわることをどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いけない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

2. 自己評価、学校関係者評価の項目と、第三者評価項目との関係についてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 重ねたほうがよい	2. どちらでもない	3. 別々に設定したほうがよい
-------------	------------	-----------------

その理由をお答えください。

--

*高等学校、中等教育学校、特別支援学校の設置者の場合は、以下の項目にもお答えください。

3. 小・中学校と同様の評価項目で評価を行うことは適切だと思いますか。（いずれかに○をつけてください。）

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*3で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。

3-1. どのような点が不適切だと思いますか。当該校の特性と関係づけてお答えください。

--

問3. 評価者についておたずねします。

1. 誰が評価者を選定・確保しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

設置者	受託者※
-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1 で「設置者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価者の選定・確保は容易でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

容易	どちらかという と容易	どちらとも いえない	どちらかという と困難	困難
----	----------------	---------------	----------------	----

1-2. 評価者はどのようにして選定・確保しましたか。

1-3. 評価者の選定に際して重視した点は何ですか。重要な順に1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 年齢
- D. 居住地域
- E. 第三者性
- F. 現在の職業・肩書
- G. 情報機器やネットワークを使いこなす能力
- H. その他（具体的にお書きください。）

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

2. 評価者の資格・認証制度は必要だと考えますか。(いずれかに○をつけてください。)

必要	どちらかという 必要	どちらとも いえない	どちらかという 必要でない	必要でない
----	---------------	---------------	------------------	-------

3. 大学・大学院（専門職大学院を含む）等での評価者の育成は必要だと考えますか。(いずれかに○をつけてください。)

必要	どちらかという 必要	どちらとも いえない	どちらかという 必要でない	必要でない
----	---------------	---------------	------------------	-------

問4. 評価チームの編成についておたずねします。

1. 誰が評価チームを編成しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

設置者	受託者※
-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1 で「設置者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価チームの編成に際して配慮した点は何ですか。1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 年齢
- D. 性別
- E. 現在の職業・肩書
- F. 地域の教育に対する知見の有無
- G. その他（具体的にお書きください。）

()

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

1-2. リーダーの選定に際して重視した点は何ですか。重要な順に1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 識見・人柄
- D. 年齢
- E. 居住地域
- F. 第三者性
- G. 現在の職業・肩書
- H. 第三者評価の経験
- I. その他（具体的にお書きください。）

()

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

問5. 評価者の研修についておたずねします。

1. 評価者に対する事前の研修（業務の内容や評価方法についての説明）を行いましたか。（いずれかに○をつけてください。）

設置者が 行った	受託者※が 行った	行っていない
-------------	--------------	--------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

***1で「設置者が行った」と回答された方におたずねします。**

1-1. どのような属性の評価者を対象にしましたか。

--

1-2. 具体的な内容、プログラム、回数および時間数などをお答えください。

--

1-3. 評価者の資質の確認・担保を行いましたか。（いずれかに○をつけてください。）

行った	行っていない
-----	--------

***1-3で「行った」と回答された方におたずねします。**

1-3-1. どのような方法で資質の確認・担保を行っているかお答えください。

--

2. 評価者の経験や能力に応じた評価能力の向上を図るために、研修以外にどのような方策を実施していますか。（予定を含む。）

--

問6. 調査の時期・日程についておたずねします。

1. 調査時期・日程は誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「学校」または「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 調査日程の長さは適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

短すぎる	やや短い	どちらとも いけない	やや長い	長すぎる
------	------	---------------	------	------

1-2. 調査時期は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いけない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

2. 調査時期として最も適切だと考える時期はいつですか。

--

月

上旬
中旬
下旬

ごろ

その理由をお答えください。

--

問7. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

1. 誰が調査報告書を取りまとめ(作成)しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

評価チーム	設置者	受託者※
-------	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「評価チーム」または「受託者」と回答された方におたずねします。

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1-1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
1-2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
1-3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
1-4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
1-5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
1-6. 報告書は、今後の教育行政における具体的な方策を示唆してくれた。	5	4	3	2	1
1-7. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

1-8. 評価結果には A~D などの評定がつけられていましたか。(いずれかに○をつけてください。)

つけられていた	つけられていなかった
---------	------------

2. A～Dなどの評定をつけることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定を つけたほうがよい	どちらかという と評定を つけたほうがよい	どちらとも いえない	どちらかという と評定はつけ ないほうが よい	評定はつけ ないほうが よい
-----------------	-----------------------------	---------------	----------------------------------	----------------------

その理由をお答えください。

3. A～Dなどの評定をつけず、講評のみを報告書に記述することについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

講評のみで 十分である	どちらかという と講評のみで 十分である	どちらとも いえない	どちらかという と講評のみで は不十分である	講評のみで は不十分である
----------------	----------------------------	---------------	------------------------------	------------------

その理由をお答えください。

4. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

問8. 第三者評価の結果の公表についておたずねします。

1. 設置者として、評価結果を公表する予定はありますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 公表する予定である	2. 公表する予定はない	3. 公表するかどうかは 未定
--------------	--------------	--------------------

* 1で「公表する予定である」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価結果の公表はどのような形で行う予定ですか。(公表の対象者や内容、媒体など具体的にお書きください。)

--

2. 評価結果を公表することによりどのような利点が得られると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営についての理解が得られる。
- B. 学校の課題を共有できる。
- C. 学校のよいところを知ってもらえる。
- D. 学校の教育活動に協力してもらえる。
- E. その他(具体的にお書きください。)

--

3. 評価結果を公表することにはどのようなリスクがあると考えますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校に対する批判がおこる。
- B. 学校運営が混乱する。
- C. 教職員のやる気が低下する。
- D. 学校のよいところを見てもらえなくなる。
- E. 保護者が不安になる。
- F. 児童生徒が不安になる。
- G. その他(具体的にお書きください。)

--

問9. 学校の第三者評価の結果を受け、何か具体的な対応を検討する予定がありますか。（あてはまるものに○をつけてください。）

1. はい	2. いいえ	3. 未定
-------	--------	-------

※「はい」と回答した場合は、今後取る予定の対応について、具体的にお書きください。

--

問10. 調査にかかる負担と得られた成果の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、得られた成果のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいとも いえず、	大きく、
得られた成果は	小さい。	大きいとも小さいとも いえない。	大きい。

※ 以下は、問3で「設置者が評価者を選定・確保した」と回答した場合にお答えください。

問11. 調査にかかる費用についておたずねします。

1. 第三者評価にかかった1校当たりの平均費用はどの程度でしたか？

A. 評価者への謝金	約	円
B. 評価者の宿泊・交通費	約	円

7. 地方実施型(受託者用)

問 1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他(具体的にお書きください。)

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点、過去に第三者評価を受けたことがあればそれと比較しての感想など、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目は、誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1 で「学校」または「設置者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

1-2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

*1 で「学校」と回答された方におたずねします。

1-3. 評価項目の設定に学校がかかわることをどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

2. 自己評価、学校関係者評価の項目と、第三者評価項目との関係についてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 重ねたほうがよい	2. どちらでもない	3. 別々に設定したほうがよい
-------------	------------	-----------------

その理由をお答えください。

--

問3. 評価者についておたずねします。

1. 誰が評価者を選定・確保しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

設置者	受託者※
-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1 で「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価者の選定・確保は容易でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

容易	どちらかという と容易	どちらとも いえない	どちらかという と困難	困難
----	----------------	---------------	----------------	----

1-2. 評価者はどのようにして選定・確保しましたか。

1-3. 評価者の選定に際して重視した点は何ですか。重要な順に1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 年齢
- D. 居住地域
- E. 第三者性
- F. 現在の職業・肩書
- G. 情報機器やネットワークを使いこなす能力
- H. その他（具体的にお書きください。）

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

2. 評価者の資格・認証制度は必要だと考えますか。(いずれかに○をつけてください。)

必要	どちらかという 必要	どちらとも いえない	どちらかという 必要でない	必要でない
----	---------------	---------------	------------------	-------

3. 大学・大学院（専門職大学院を含む）等での評価者の育成は必要だと考えますか。(いずれかに○をつけてください。)

必要	どちらかという 必要	どちらとも いえない	どちらかという 必要でない	必要でない
----	---------------	---------------	------------------	-------

問4. 評価チームの編成についておたずねします。

1. 誰が評価チームを編成しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

設置者	受託者※
-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1 で「受託者」と回答された方におたずねします。

1-1. 評価チームの編成に際して配慮した点は何ですか。1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 年齢
- D. 性別
- E. 現在の職業・肩書
- F. 地域の教育に対する知見の有無
- G. その他（具体的にお書きください。）

()

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

1-2. リーダーの選定に際して重視した点は何ですか。重要な順に1位から5位までをお答えください。

- A. 専門分野
- B. 経歴・業績
- C. 識見・人柄
- D. 年齢
- E. 居住地域
- F. 第三者性
- G. 現在の職業・肩書
- H. 第三者評価の経験
- I. その他（具体的にお書きください。）

()

1位	
2位	
3位	
4位	
5位	

問5. 評価者の研修についておたずねします。

1. 評価者に対する事前の研修（業務の内容や評価方法についての説明）を行いましたか。（いずれかに○をつけてください。）

設置者が 行った	受託者※が 行った	行っていない
-------------	--------------	--------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

***1で「受託者が行った」と回答された方におたずねします。**

1-1. どのような属性の評価者を対象にしましたか。

--

1-2. 具体的な内容、プログラム、回数および時間数などをお答えください。

--

1-3. 評価者の資質の確認・担保を行いましたか。（いずれかに○をつけてください。）

行った	行っていない
-----	--------

***1-3で「行った」と回答された方におたずねします。**

1-3-1. どのような方法で資質の確認・担保を行っているかお答えください。

--

2. 評価者の経験や能力に応じた評価能力の向上を図るために、研修以外にどのような方策を実施していますか。（予定を含む。）

--

問6. 調査の時期・日程についておたずねします。

1. 調査時期・日程は誰が設定しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

学校	設置者	受託者※
----	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「学校」または「設置者」と回答された方におたずねします。

1-1. 調査日程の長さは適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

短すぎる	やや短い	どちらとも いえない	やや長い	長すぎる
------	------	---------------	------	------

1-2. 調査時期は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

2. 調査時期として最も適切だと考える時期はいつですか。

	月	上旬	ごろ
		中旬	
		下旬	

その理由をお答えください。

問7. 調査報告書についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

1. 誰が調査報告書を取りまとめ(作成)しましたか。(いずれかに○をつけてください。)

評価チーム	設置者	受託者※
-------	-----	------

※ 調査対象校の設置者である場合を除く。

*1で「評価チーム」または「設置者」と回答された方におたずねします。

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1-1. 報告書には、学校の良い点や努力についても記述されていた。	5	4	3	2	1
1-2. 報告書では、学校が有する課題について指摘されていた。	5	4	3	2	1
1-3. 報告書には、評価の根拠となる客観的事実が明確に述べられていた。	5	4	3	2	1
1-4. 報告書には、課題の背景等について専門的視点からの分析が述べられていた。	5	4	3	2	1
1-5. 報告書には、改善のための提案や専門的助言が示されていた。	5	4	3	2	1
1-6. 報告書は、今後の教育行政における具体的な方策を示唆してくれた。	5	4	3	2	1
1-7. 調査報告書の内容は納得のできるものであった。	5	4	3	2	1

1-8. 評価結果には A~D などの評定がつけられていましたか。(いずれかに○をつけてください。)

つけられていた	つけられていなかった
---------	------------

2. A～Dなどの評定をつけることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定を つけたほうがよい	どちらかという と評定を つけたほうがよい	どちらとも いえない	どちらかという と評定はつけ ないほうが よい	評定はつけ ないほうが よい
-----------------	-----------------------------	---------------	----------------------------------	----------------------

その理由をお答えください。

3. A～Dなどの評定をつけず、講評のみを報告書に記述することについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

講評のみで 十分である	どちらかという と講評のみで 十分である	どちらとも いえない	どちらかという と講評のみで は不十分である	講評のみで は不十分である
----------------	----------------------------	---------------	------------------------------	------------------

その理由をお答えください。

4. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

問8. 第三者評価の結果の公表についておたずねします。

1. 評価結果を公表することによりどのような利点が得られると考えますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校運営についての理解が得られる。
- B. 学校の課題を共有できる。
- C. 学校のよいところを知ってもらえる。
- D. 学校の教育活動に協力してもらえる。
- E. その他（具体的にお書きください。）

()

2. 評価結果を公表することにはどのようなリスクがあると考えますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください。）

- A. 学校に対する批判がおこる。
- B. 学校運営が混乱する。
- C. 教職員のやる気が低下する。
- D. 学校のよいところを見てもらえなくなる。
- E. 保護者が不安になる。
- F. 児童生徒が不安になる。
- G. その他（具体的にお書きください。）

()

問9. 学校の第三者評価の結果を受け、何か具体的な対応を検討する予定がありますか。（あてはまるものに○をつけてください。）

1. はい	2. いいえ	3. 未定
-------	--------	-------

※「はい」と回答した場合は、今後取る予定の対応について、具体的にお書きください。

問10. 調査にかかる負担と得られた成果の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、得られた成果のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいとも いえず、	大きく、
得られた成果は	小さい。	大きいとも小さいとも いえない。	大きい。

※ 以下は、問3で「受託者が評価者を選定・確保した」と回答した場合にお答えください。

問11. 調査にかかる費用についておたずねします。

1. 第三者評価にかかった1校当たりの平均費用はどの程度でしたか？

A. 評価者への謝金	約	円
B. 評価者の宿泊・交通費	約	円

8. 地方実施型(評価者用)

問1. 調査全体についておたずねします。

1. 自己評価、学校関係者評価を実施している中で、第三者評価に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校運営全般についての専門的視点からの評価
- B. 学校の重点的取り組みについての評価
- C. 新たな気づきをもたらす評価
- D. 学校運営全般についての一定基準での客観的評価
- E. 学校運営改善についての専門的助言
- F. 自己評価・学校関係者評価の妥当性の検証・補足
- G. 設置者の取り組みに対する評価
- H. その他(具体的にお書きください。)

()

2. 今回の実地検証は、1の期待に沿い、学校運営の改善に役立つものでしたか。(いずれかに○をつけてください。)

非常に役に立つ	一定程度役に立つ	どちらともいえない	あまり役に立たない	まったく役に立たない
---------	----------	-----------	-----------	------------

*2で「非常に役に立つ」「一定程度役に立つ」と回答された方におたずねします。

2-1. 具体的にどのような点が役立ちましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

- A. 学校の課題とそれに対する改善方策が明確になった。
- B. 学校運営改善策の助言や示唆が得られた。
- C. 教職員の意識改革・意欲の向上につながった
- D. 学校の教育活動が活性化した。
- E. 一定の基準に照らした学校の教育の客観的状況が明確になった。
- F. 学校運営全般の点検ができた。
- G. 自己評価・学校関係者評価の検証ができた。
- H. 設置者の支援の必要性の状況が明確になった。
- I. その他(具体的にお書きください。)

()

3. 調査全体を通じてのご意見、良かった点あるいは困難や負担に感じた点があれば、自由にお書きください。

4. 地方が主体となって第三者評価を実施する場合、国や都道府県教育委員会の設置者、学校に対する関与・支援はどうあるべきだと思いますか。

問2. 評価項目についておたずねします。

1. 評価項目の数は適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

少なすぎる	やや少ない	適切	やや多い	多すぎる
-------	-------	----	------	------

2. 評価項目は、学校を評価するものとして適切でしたか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

***高等学校、中等教育学校、特別支援学校の評価者の方は、以下の項目にもお答えください。**

3. 小中学校と同様の評価項目で評価を行うことは適切だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

適切	どちらかという 適切	どちらとも いえない	どちらかという 不適切	不適切
----	---------------	---------------	----------------	-----

***3で「どちらかというと不適切」「不適切」と回答された方におたずねします。**

3-1. どのような点が不適切でしたか。訪問校の特性と関係づけてお答えください。

--

問3. 調査日程についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 学校の実態を把握するには短い。	5	4	3	2	1
2. 学校規模に対して不適切である。	5	4	3	2	1
3. 評価内容に対して不適切である。	5	4	3	2	1
4. 評価委員の打ち合わせの時間が不足している。	5	4	3	2	1
5. 本務への差し障りがある。	5	4	3	2	1
6. 身体的・精神的な負担が大きい。	5	4	3	2	1
7. 全体として調査日程の長さは適切だった。	5	4	3	2	1

問4. 訪問校についての情報を得るための資料等の事前配布または事前説明はありましたか。(いずれかに○をつけてください。)

あった	なかった
-----	------

問5. 調査方法についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 授業観察やヒアリング等の調査方法は適切だった。	5	4	3	2	1
2. ヒアリングの時間が足りなかった。	5	4	3	2	1
3. 別の対象からもヒアリングしたかった。	5	4	3	2	1
4. 授業観察の時間が足りなかった。	5	4	3	2	1
5. 普段どおりの授業を観察できた。	5	4	3	2	1

6. 訪問調査を行うにあたり、評価委員の間で役割分担をしましたか。(いずれかに○をつけてください。)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

*6で「はい」と回答された方におたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
7. 役割分担により、効率的に調査を実施できた。	5	4	3	2	1
8. 役割分担により、学校の一部しか把握できなかった。	5	4	3	2	1
9. 役割分担はしないほうがよい。	5	4	3	2	1

問6. 調査を通じて、学校や児童生徒の状況を客観的に把握できたと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 学校や児童生徒の状況を客観的に把握できた。	5	4	3	2	1

*以下 2~4 は 1 で「あてはまる」以外を選択された方のみお答えください。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
2. 時間的制約のため、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1
3. 判断材料が不十分なため、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1
4. 授業観察やヒアリングで取り繕った様子を感じられ、客観的に把握できなかった。	5	4	3	2	1

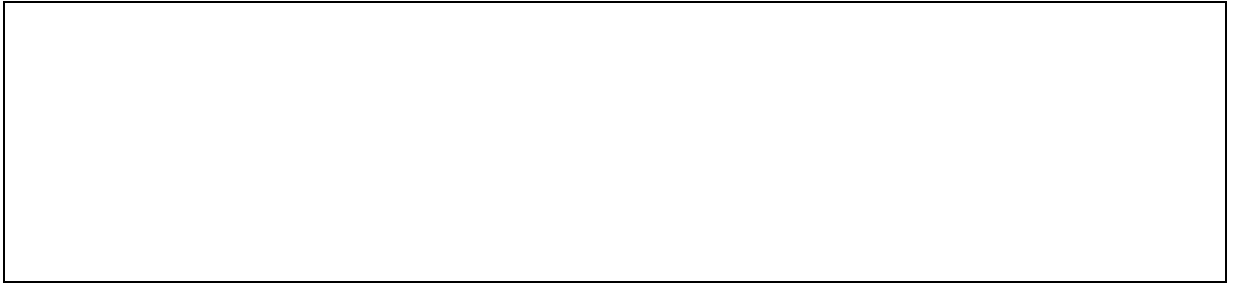
問7. 報告書の作成についておたずねします。(いずれかに○をつけてください)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
1. 特に困難はなかった。	5	4	3	2	1
2. 文章表現に気を遣った。	5	4	3	2	1
3. 学校の良い点や努力についても記述した。	5	4	3	2	1
4. 学校が有する課題について指摘した。	5	4	3	2	1
5. 課題を的確に指摘するのは難しかった。	5	4	3	2	1
6. 評価の根拠となる客観的事実を明確に述べた。	5	4	3	2	1
7. 課題の背景等について専門的視点からの分析を述べた。	5	4	3	2	1
8. 改善のための提案や専門的助言を示した。	5	4	3	2	1
9. 改善策を提示するのは責任が重過ぎると感じた。	5	4	3	2	1
10. 改善策の提示が難しかった。	5	4	3	2	1

*10で「あてはまる」「わりとあてはまる」と回答された方におたずねします。

10-1. どのような点が難しかったかお答えください。

10-2. どのような方策を講じればその困難がなくなると考えますか。



問8. 調査報告書についておたずねします。

1. 評価結果に A～D などの評定をつけましたか。(いずれかに○をつけてください。)

つけた	つけなかった
-----	--------

2. A～Dなどの評定をつけず、講評のみを報告書に記述することについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

講評のみで 十分である	どちらかというと 講評のみで 十分である	どちらとも いえない	どちらかというと 講評のみでは 不十分である	講評のみでは 不十分である
----------------	----------------------------	---------------	------------------------------	------------------

その理由をお答えください。

3. A～Dなどの評定をつけることについてどう思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

評定を つけたほうがよい	どちらかというと 評定を つけたほうがよい	どちらとも いえない	どちらかというと 評定はつけない ほうがよい	評定はつけない ほうがよい
-----------------	-----------------------------	---------------	------------------------------	------------------

その理由をお答えください。

4. 改善のための提案や専門的助言を報告書に含めることは必要だと思いますか。(いずれかに○をつけてください。)

1. 必要	2. どちらともいえない	3. 不要
-------	--------------	-------

その理由をお答えください。

--

問9. 調査にかかる負担についておたずねします。

1. 訪問調査前の作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

2. 訪問調査前の作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

3. 訪問中の作業量はどの程度でしたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に多い	やや多い	適切	やや少ない	非常に少ない
-------	------	----	-------	--------

4. 訪問中の作業の負担をどのように感じましたか？(いずれかに○をつけてください。)

非常に苦痛に感じた	やや苦痛に感じた	仕方ないと感じた	当然であると感じた	適切であると感じた
-----------	----------	----------	-----------	-----------

5. 調査全体を通じてもっとも負担に感じたことは何ですか。

--

6. 調査にかかる負担全体と報告書取りまとめの満足度の関係についておたずねします。下の文の中で、負担、取りまとめの満足度のそれぞれについてあてはまるものに○をつけてください。

調査にかかる負担は	小さく、	大きいとも小さいともいえず、	大きく、
取りまとめの満足度は	小さい。	大きいとも小さいともいえない。	大きい。

問10. 評価者の研修等についておたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

1. 評価者に対する事前の研修(業務内容や評価方法の説明)は行われましたか。(いずれかに○をつけてください。)

行われた	行われなかった
------	---------

*1で「行われた」と回答された方におたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
2. 評価委員に対する研修の内容は適切であった。	5	4	3	2	1
3. 評価委員に対する研修の回数は適切であった。	5	4	3	2	1
4. 評価委員に対する研修が不十分だと感じた。	5	4	3	2	1

*4で「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答された方におたずねします。

4-1. どのような点が不十分だったかお答えください。

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
5. 評価委員に対する研修は必要ないと感じた。	5	4	3	2	1
6. 評価委員に対する研修は役立った。	5	4	3	2	1

*過去にも第三者評価の評価者の経験がある方におたずねします。(いずれかに○をつけてください。)

質問項目	あてはまる	わりとあてはまる	どちらともいえない	余りあてはまらない	あてはまらない
7. 経験が増えるにしたがって、評価が適切に行えると感じるようになった。	5	4	3	2	1
8. 経験が増えるにしたがって、手際よく評価できるようになった。	5	4	3	2	1